

みずほCustomer Desk Report 2018/05/16 号 (As of 2018/05/15)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.74
TKY 9:00AM	109.74	1.1932	130.92	1.3560	0.7526
SYD-NY High	110.45	1.1938	131.13	1.3570	0.7537
SYD-NY Low	109.67	1.1820	130.45	1.3452	0.7448
NY 5:00 PM	110.35	1.1838	130.64	1.3509	0.7472
NY DOW	24,706.41	▲ 193.00	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,351.63	▲ 59.69	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,711.45	▲ 18.68	米国2年債	2.5745	2.50bp
日経平均	22,818.02	▲ 47.84	米国5年債	2.9160	5.47bp
TOPIX	1,805.15	▲ 0.77	米国10年債	3.0714	6.99bp
シゴ日経先物	22,755	▲ 135.00	独10年債	0.6440	3.45bp
ロンドンFT	7,722.98	12.00	英10年債	1.5160	4.55bp
DAX	12,970.04	▲ 7.67	豪10年債	2.8255	5.40bp
ハンセン指数	31,152.03	▲ 389.05	USDJPY 1M Vol	7.05	0.50%
上海総合	3,192.12	18.09	USDJPY 3M Vol	7.25	0.25%
NY金	1,290.30	▲ 27.90	USDJPY 6M Vol	7.76	0.16%
WTI	71.31	0.35	USDJPY 1M 25RR	-0.40	Yen Call Over
CRB指数	203.45	▲ 0.38	EURJPY 3M Vol	7.36	0.19%
ドルインデックス	93.22	0.63	EURJPY 6M Vol	7.91	0.13%

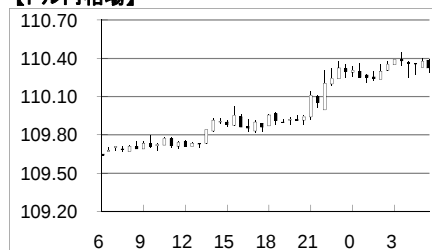
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月15日	11:00	中 小売売上高(前年比)	4月 9.4%	10.0%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	4月 7.0%	6.4%
	18:00	欧 GDP(季調済/前期比)速報	1Q 0.4%	0.4%
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景況指数	5月 20.1	15.0
	21:30	米 小売売上高(前月比)速報	4月 0.3%	0.3%
	23:00	米 FRB副議長候補クラリダ氏「金融政策を巡るFRBの独立性は不可欠」		
5月16日	02:00	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁「今年の利上げ回数は3~4回が適切」		

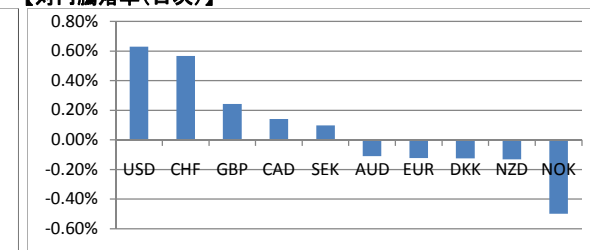
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月16日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)	1Q -0.1%	1.6%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	4月 0.3%/1.2%	1.0%/1.3%
	21:00	欧 ドラギECB総裁講演		
	21:30	米 住宅着工件数	4月 1310k	1319k
	21:30	米 ボスディック・アトランタ連銀総裁講演		
5月17日	06:30	米 ブラード・セントルイス連銀総裁講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.10	1.1800-1.1950	130.00-131.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル/円は上昇。独第1四半期GDPが市場予想を下回るなど、ユーロに売りが入る中、ドルに買いが入ったことや、米5月ニューヨーク連銀製造業景況指数が市場予想を上回り、米4月小売売上高が無難な結果になる中、ドル/円は堅調に推移。そのままクローズ。本日についても、特段目立った材料は予定されてない中、堅調な推移を想定している。

東京	109.74レベルで東京時間をスタートしたドル円は、公示仲値通過後に109.67まで小緩んだ後、午前中は動意に乏しい展開。午後に入り、米金利がじり高推移する中、全般的にドル買いが優勢となると、ドル円は底堅く推移。110.02まで上昇し、109.95レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.95レベルでオープン、アジア時間に続き110円をうかがい小動きとなるも、米長期金利の上昇でドル買いが強まり110.14まで上昇。そのまま110.10レベルでNYに渡った。1.1921レベルで始まったユーロは、朝方よりユーロ圏各国の第一四半期GDPが市場予想比弱めの結果となり、加えて米長期金利が上昇すると1.1877まで低下し1.1879レベルでNYに渡った。ポンドは、1.3544でオープン。朝方に3月の英雇用者数が増加したことを好感した買いがみられ1.3560まで上昇する場面もあったがドルが騰勢を強める中、値を下げ1.3517でNYに渡った。
ニューヨーク	110.10レベルでNYオープン。朝方は200日移動平均線が観測されている110.17がレジスタンスとして意識され110.00まで反落するが、朝方発表された5月NY連銀製造業景況指数が予想を上回ったことや、下振れすると予想されていた米4月小売売上高は予想をやや下回ったものの、前回分が上方修正されたことから引き続き堅調との見方が強まったことで、110.30まで上昇する。その後もじりじりと110.38まで上昇するが、110.40付近では売り意欲もあり、110.21まで反落する。NY午後に入り米10年債金利が3.09%まで乗せる展開に、再度ドル買いが強まり高値110.45まで上昇する。終盤に掛けてはウィリアムズ・SF連銀総裁がインフレ圧力が上昇すれば速いペースでの利上げもあり得との発言をしたものの、これを受けたドル円の反応は限定的となるが、引き続き高値圏での推移が続き、110.35レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、1.1879レベルでNYオープン。朝方は、NY連銀製造業景況指数と小売売上高結果を受けたドル買いに1.1820まで下落する。NY正午過ぎになりショートカバーから1.1876まで戻す局面もあったものの、終盤にかけて再度ドル買いが優勢となったことからユーロドルは反落し、1.1838でクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 藤巻・田家